



12月は
人権啓発月間！

第9号_2
令和4年12月8日
児童数810名

ひとり しあわ なまえ
一人ひとりを幸せにするための名前



本校は「命を守り、命を育む」学校づくりのために、安全で安心な環境づくりに取り組んでいます。この安全で安心な環境づくりの上に欠かせない取り組みとして「じんけんかんかく（人権感覚）を育む」ことを大切にしています。

「じんけん」とは、わかりやすく言うと一人ひとりが「幸せに生きる権利」のこと。一人ひとりが「幸せに生きる権利」とは、自分以外の人にも幸せに生きる

権利があることだ、とも言い換えることができます。

さて、学校では、一人ひとりに名札をつけてもらったり上靴に名前を書いてもらったりしています。それだけではありません。

一人ひとりの持ち物にも名前を書いてもらっています。

これは、何年何組のだれであるかを書くことで、子ども達が、よりみなさんに分かってもらえるからです。（保護者証には家族の名前が書いてあります。保護者証を見て、名前をつけてあいさつできるといいですね。）

また、校内でけがをしたり、しんどくなったり、地震や火事などの緊急時に集まったりした時に、子ども達がだれであるかを、だれにでも分かるようにすることで、みなさんの安全を確かめることができます。

学校では、4月から「名前をつけてあいさつをしましょう!」とお話しています。少しでも学校の人の名前を覚えることでみなさんが幸せに過ごせることができますし、安全・安心に過ごすこともできるからです。

この学校は自分をのぞいて809人の子ども達と約70人の先生から名前を覚えてもらえたり、大切にされたりするチャンスがあります。

お互いの名前を呼び合い、声をかけ合うことが「命を守り命を育む」学校になると考えています。登校班の仲間のお名前は覚えましたか？
まずは、そこから覚えていきましょう。

法務省 人権ドリルのご案内▶

